

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農村整備課長 田和 貢	電話番号	0852-22-5176
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	農業農村整備事業管理		
目的	(1) 対象	農家、市町村、土地改良区	
	(2) 意図	大区画化による生産コストの削減や収益性の高い売れる農作物の栽培を可能とする農業基盤の確保等のため、農業農村整備事業を計画的・効率的に進める。	
事業概要	農業農村整備事業を計画的かつ効率的に進めるため、農家・市町村等の要望を踏まえ、適切な事業管理を行い、それに基づき事業計画を策定する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 事業計画策定地区数（地区）	目標値		7.0	8.0	5.0	5.0	地区
		取組目標値						
	式・定義 次年度の事業着手のために事業計画を策定する地区数	実績値	1.0	7.0				
		達成率	-	100.0	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	51,475	32,500
うち一般財源 (千円)	20,112	16,250

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・年次計画により新規事業着手地区の事業計画を策定しており、平成28年度は、地元の要望に応えるため目標どおり事業計画を策定し事業着手を行った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成28年度（平成29年度新規事業着手地区）は、予算のきめ細やかな調整・執行に努めるとともに、県単独事業の補完等も行いながら目標どおり7地区の新規事業着手を行った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・新規事業着手地区については、計画的かつ効率的に進めてきているが、平成27年度から国費が要望に対して不足していることにより、継続地区を含めて事業の進捗に影響が出ている状況。
・農家や市町村等からの要望は依然として多いが、現在の予算状況が続けば、新規着手地区の着工時期や継続地区の完了時期に影響が生じ、地域の要望に応えられない状況が発生することが懸念。

②困っている状況が発生している「原因」

・島根県の農業農村整備事業予算は、国の予算が平成22年度に大幅に削減されて以降、徐々に回復傾向にはあるが、県への国費の割当が要望に対して不足している状況が続いており、地域の要望に対して事業の進捗が図れない状況となっている。

③原因を解消するための「課題」

・国庫補助事業等の必要な予算の確保。
・地域の要望に対応した計画的かつ効率的な事業の推進。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・国に対して、必要な予算を長期にわたり当初予算で確保するよう求めていく。
・平成28年度に策定した「しまね農業農村整備指針」や国の土地改良長期計画、また、県の上位計画を踏まえつつ、各市町村からの事業管理計画に基づき、次年度以降の事業実施計画シミュレーションを行い、予算のきめ細やかな調整・執行に努める。
・地元の要望に対して、計画的に事業を実施するため、国の補正予算の活用、事業の一部切り出し、県単独事業の補完等も行いながら、進捗に影響が出ないように事業を推進していく。